

大切なあなたに一筆啓上 南小学校の5年生を対象に 「手紙の書き方教室」が開催

講師を務めた高浜郵便局の志岐知洋局長は、宛名の書き方や郵便番号の知識を解説するとともに、パソコンやスマートフォンが普及した社会において、手書きの文章で思いを届けることの大切さを伝えました。この日は、2週間後に予定された運動会の招待状を家族や親戚に向けて送りました。文章で意気込みを伝える子、絵を描いて運動会の見どころを伝える子など、一人ひとりの個性が輝く招待状ができました。



▲講師を務めた高浜郵便局の志岐知洋局長と南小学校の5年生。みんな真剣に説明を聞いています。



▲(左上) ボランティア連絡協議会の皆さん
(右下) クリスマスリースの各パーツは手が込んでおり「楽しいクリスマスをお過ごししてほしい」という思いが込められています。

クリスマスに真心を込めて ボランティア連絡協議会の皆さんがクリスマスリース作成

この活動は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、ボランティア活動が止まってしまった時期に、施設の利用者や在宅障がい者の皆さんとの繋がりを絶やさないために始まりました。折り紙講師の資格を持つ、前会長の井坂日出代さんの指導で、季節ごとに折り紙リースを作成し、市内の福祉施設に届けられます。クリスマスリースは、石岡市社会福祉協議会が主催する「障がい児(者)クリスマスプレゼント事業」のプレゼントの一つとして届けられました。

児童虐待防止を呼びかける 「オレンジリボンたすきリレー」 が行われました

11月の児童虐待防止月間に合わせて「オレンジリボンたすきリレー」が行われました。

子どもたちが安心して暮らせる社会を目指して、児童虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに見立て、各市町村の啓発ランナーが県庁を目指しました。

当市の啓発ランナーは、恋瀬橋ロードパークから石岡市役所本庁舎を経由し、美野里ロードパークまで走りました。当日は主任児童委員の皆さまにもご参加いただき、児童虐待防止への意識を高める機会となりました。



▲石岡市役所本庁舎に到着した石岡市とかずみがうら市の啓発ランナーおよび関係者。



石岡の魅力を再発見！

歴史ボランティアの会「ふるさと石岡」歴史ガイドツアー

このツアーでは歴史ボランティアの会の皆さんが、市内の史跡や歴史ある建造物について、市内外の参加者47人に案内しました。勤務先が石岡市にある市外在住の女性は「国府が石岡に置かれた頃のにぎわいが想像できた。石岡の歴史は興味深い」と感想を話してくれました。コースには「石岡市立ふるさと歴史館」での説明も含まれており、参加者の皆さんは原始から近代までの歴史を俯瞰しながら、石岡の魅力を感じることができました。



▲①ガイドを務めた歴史ボランティアの会・竹内さん ②都々坊扇歌堂 ③石岡の古い街並みを散策する参加者の皆さん ④看板建築



▲スタントマンによる自転車の危険な乗り方の実演。見通しの悪い道路で一時停止を怠った交通事故を再現しています。

守ろう交通ルール。守ろう大切な命。

石岡中学校でスタントマンによる自転車交通安全教室

石岡警察署主催の教室では(有)シャドウ・スタントプロダクションの皆さんによる自転車の危険な乗り方(スマホ操作・傘さし、2人乗り)、飛び出し、巻き込み事故の実演が行われました。生徒たちは、交通ルールを順守することの重要性が理解できました。

3年生の渡邊唯桃さんは「スタントマンの皆さんの迫力ある演技と説得力ある説明のおかげで、事故が他人事ではないことが理解できた。自分でできる最大限のことを気を付けていきたい」と感想を話してくれました。

地域で育む自助・共助の意識 東小学校区地域防災訓練を実施しました

11月17日、東小学校周辺の地域を対象とした地域防災訓練を実施しました。茨城県南部に大規模地震が起こったことを想定した訓練では、防災無線からの地震発生の放送を聞いた住民が体育館に集まり、避難の手順を確認しました。

災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために命と財産を守る知識と経験を身に付けることが重要です。日頃から、一人ひとりが災害に備える「防災意識」を身に付けてみませんか。



▲訓練では消火器を使った消火訓練や搬送・応急手当訓練などさまざまな訓練が行われました。